



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1490 2026年3月23日

ARIB からのお知らせ

### 標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに1件の英語翻訳版を公開しました。

#### 【通信分野】

規格番号等		標準規格名等
STD-T98	2.0 版	デジタル簡易無線局の無線設備
		Digital Convenience Radio Equipment for Simplified Service ARIB STANDARD

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものです。正本と翻訳版との間に内容、表現等に相違点があった場合は、正本を優先します。

### 第 222 回 ARIB 電波利用セミナー開催のお知らせ 「先端技術の研究開発と社会実装の取組」

近年の半導体や AI の急速な進展により、様々なデータを収集・利活用するための計算能力が国力を左右するともいわれています。それを支える通信基盤は、「国家の産業競争力の基盤」として、経済・安全保障の観点からも極めて重要となっています。政府が策定を進めている成長戦略においても、情報通信分野は、成長投資・危機管理投資の戦略分野の一つに位置づけられています。

こうした中、様々なデータを収集し、安全にやりとりし、信頼できる利活用を実現するためには、リモートセンシング技術やテラヘルツ無線通信技術等の電波利用技術をはじめ、フォトニックネットワーク技術や量子通信技術等の先端通信技術、生成 AI 技術や脳情報通信技術等のデータ利活用技術など、多様な先端技術の実現とその活用が求められているところです。

そこで、今回の ARIB 電波利用セミナーでは、総務省国際戦略局技術政策課研究推進室長の大野誠司氏をお迎えして、研究推進室で取り組んでいる先端技術の研究開発とその社会実装の取組についてご講演いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

## 記

1. 日 時 : 2026年4月23日(木) 16時~17時
2. 場所・形態 : オンラインセミナー(Zoom ウェビナー使用)
3. 題 名 : 「先端技術の研究開発と社会実装の取組」
4. 講 師 : 総務省 国際戦略局 技術政策課 研究推進室  
室長 大野誠司氏
5. 参加者 : 180名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)  
ARIB 正会員、賛助会員対象
6. 申込先 : 当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。  
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
7. 参加費 : 無料
8. 問合せ先 : ARIB 電波利用セミナー事務局 大塚、角埜  
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar@arib.or.jp

## ARIB の動き

### 3GPP TSG 会合および技術展示イベントを福岡市で開催

移動通信システムに関する国際標準化プロジェクトである 3GPP TSG (3rd Generation Partnership Project, Technical Specification Group)の第 111 回会合が、以下のとおり開催されました。

1. 日 時 : 2026年3月9日(月)~12日(木)  
(もともとは13日(金)までの開催予定だったが、早い議論終結のため一日短縮)
2. 場 所 : 博多国際展示場&カンファレンスセンター(福岡市博多区)
3. 主 催 : 一般社団法人電波産業会(ARIB)/一般社団法人情報通信技術委員会(TTC)
4. 参加者数 : TSG SA 会合: 約 300 名、TSG RAN 会合: 約 376 名、TSG CT 会合: 約 224 名
5. 概 要 :

3GPP TSGは、移動通信システムにおける技術検討、仕様策定の審議を行っており、以下のように検討対象によってTSG SA(Service and system Aspects)、TSG RAN(Radio Access Network)、及びTSG CT(Core Network & Terminal)の3つの検討グループで構成されています。

グループ	対象内容(テーマ)
TSG SA	サービスとシステム全体
TSG RAN	無線技術仕様、基地局とコアネットワーク間プロトコル
TSG CT	コアネットワークと端末間プロトコル

3GPP TSG会合は年4回開催され、今回の第111回会合については3GPPの組織パートナー(Organizational Partner)のARIBとTTCの共同ホストによる日本開催となりました。なお、

TSG会合の日本開催は、2017年9月に札幌で第77回会合を開催してから約8年半ぶりとなります。

現在3GPPでは、5Gの次期フェーズである「5G-Advanced」の仕様策定に加え、次世代通信規格である「6G」に向けた機能の選定や仕様策定スケジュールに関する検討が進められており、本会合においてもこれらについて活発な議論が行われました。



会場正面入口



TSG RAN 会合の様子

また、TSG会合に併せて、ARIBが事務局を務めるXGモバイル推進フォーラム(XGMF)主催の3つのイベントが開催され、いずれも盛況で、XGMFの知名度向上とともに、5G/6Gへの取り組みや成果をアピールすることができました。

- (1) リーダシップ懇親会(3月10日夜): JR博多駅近くのオリエンタルホテルにて、3GPP TSG/WG議長陣およびXGMF主要メンバ等総勢72名のキーパーソンが集い、親睦を深めました。
- (2) 技術展示会(3月11～12日): TSG会合開催会場の1室にて、XGMF有志会員による11件の5G/6G関連技術展示を行い、XGMFおよび日本の高い技術力をアピールしました。なお、TSG会合参加者だけでなく、同時期に九州産業大学で開催中だった電子情報通信学会総合大会の一部の参加者にも見学いただき、盛況となりました。
- (3) レセプション(3月11日夜): 技術展示会会場にて、今回のTSG会合参加者およびXGMF関係者が集うレセプションを開催し、活発なネットワーキングが行われました。



リーダーシップ懇親会の様子



技術展示会・レセプションの様子

## ITU-R WP7C 会合における宇宙天気センサに関する概要報告

WP7C(Working Party 7C : 7C作業部会)は、ITU-RのSG7(Study Group 7 : 第7研究委員会)の下に設置され、宇宙天気センサを含むリモートセンシングについて検討している専門家会合です。

### 1. 会合の概要

日 程 : 2026年3月2日 (月) ~12日 (木)

場 所 : スイス・ジュネーブ(Web会議併用)

参加者 : 各国、各団体から約290名が参加(日本は、総務省基幹・衛星移動通信課電波利用分析官の糸将之氏を団長に12名が参加。当会から横山次長が参加。)

### 2. 宇宙天気センサに関する主要結果

太陽活動は、航空無線、電力網、通信・放送・測位システムなどの社会インフラに異常を発生させ、我々の社会経済活動に多大な影響を与える恐れがあります。太陽活動やその電離圏・磁気圏等への影響の観測は宇宙天気センサによって行われます。しかし、宇宙天気センサに用いられる周波数は、国際的な周波数使用の枠組みを定める無線通信規則に用意されておらず、保護するための国際的な基盤がないことが課題となっています。

このため、ITUでは、2027年に開催予定の世界無線通信会議(WRC-27)で受信専用の宇宙天気センサ用の周波数分配について審議することとなりました。WP7Cでは、WRC-27に向けて、この周波数分配に関する準備検討を行っています。

宇宙天気センサが他国から認識され、国際的な保護を受けるためには、ITUの国際周波数登録原簿に登録する必要があります。今回のWP7C会合では、その登録手続きについて検討しました。ARIBでは、総務省の委託を受けて、登録手続きについて調査し、その結果をもとに作成した規則案を今回会合に提出しました。審議の結果、提出した規則案はWP7Cで作成中の報告書案に盛り込まれました。

### 3. 次回会合予定

次回WP7C会合は2026年9月14日～24日に開催予定です。

## 第 221 回 ARIB 電波利用セミナーを開催 「Building Intelligent and Resilient 6G Systems - Regional aspects from EU & US」

3月17日(火)、第221回ARIB電波利用セミナーをオンラインにて開催しました。

今回は、NTTドコモ欧州研究所においてCTO/CSOとして10年以上勤務されるとともに、EUの研究開発プロジェクト責任者等の数々の要職を歴任し、現在はWireless World Research Forum(WWRF)の欧州・中東・アフリカ地域副議長を務めておられるHendrik Berndt氏を講師にお招きし、ドイツより「Building Intelligent and Resilient 6G Systems - Regional aspects from EU & US」と題した講演を行っていただきました。

講演では当会が委託している「欧州および米国におけるBeyond 5Gの研究開発動向の調査」を踏まえ、欧州および米国におけるBeyond 5G/6Gの最新研究開発動向についてご説明をいただきました。

当日は、会員をはじめ約40名の皆様にご参加いただき、オンラインでの聴講に加え、欧米における6Gの研究開発体制等について活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料は、当会Webサイト内「ARIB会員のページ」  
<https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html>にて公開予定です。



WWRF Hendrik Berndt 氏

## ARIB 内会合(3月23日～3月27日)予定

3月25日(水) : 第350回技術委員会(放送分野)

Web会議併用

3月27日(金) : 第25回BWA部会

Web会議

## 国際会合(3月23日～3月27日)予定

参加を予定している会合はありません。

### 総務省などからのお知らせ

**特定小電力無線局の用途、電波の型式及び周波数並びに空中線電力を定める  
件の一部を改正する告示案等に係る意見募集  
—920MHz帯空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの屋外利用等に係る制  
度整備—**

**【令和8年3月13日発表】**

総務省は、特定小電力無線局の用途、電波の型式及び周波数並びに空中線電力を定める件(平成元年郵政省告示第四十二号)の一部を改正する告示案等について、令和8年3月14日(土)から同年4月13日(月)までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和8年3月13日の総務省報道資料】](#) をご覧下さい。

**電波法による伝搬障害の防止に関する規則の一部を改正する省令案等に係る  
意見募集  
—排他的経済水域内における重要無線通信の保護—**

**【令和8年3月17日発表】**

総務省は、排他的経済水域において電波伝搬障害防止制度を適切に運用するため、電波法による伝搬障害の防止に関する規則の一部を改正する省令案等について、令和8年3月18日(水)から同年4月16日(木)までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和8年3月17日の総務省報道資料】](#) をご覧下さい。

令和8年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する  
評価技術研究に係る提案公募

【令和8年3月19日発表】

総務省では、令和8年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する評価技術研究について、令和8年3月19日（木）から同年4月17日（金）までの間、研究課題(Beyond 5G等の電波利用の高度化に対応したリスク管理等に関する研究)に対する提案を公募しています。

詳細については[【令和8年3月19日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)